和泉市第9期介護保険事業計画　PDCAシート

令和7年度実績及び令和8年度計画（案）

資料2-1

計画体系		
	基本目標	3　地域におけるネットワークの構築
	基本施策	（3）医療と介護の連携強化
	主な事業	①地域の医療・介護の資源の把握

現行計画の内容

○　市民が医療機関や介護事業所を選択する際の情報収集の助けとなる「医療・介護マップ」を作成します。また、今後も、医療と介護の専門職がより円滑な連携を図るために必要な情報をとりまとめ、関係者間で共有します。

○　市民及び関係者が、必要な情報を選択し、連絡できるような環境整備を検討するとともに、さらなる医療・介護の資源の把握に努めます。

令和7年度の取組状況

①在宅医療機関一覧表、訪問看護ステーション一覧の更新

毎年12月に一斉調査、翌年2月に最新の冊子を作成、関係医療機関と地域包括支援センターに配布。
訪問看護ステーション一覧は、市ホームページに掲載し、情報を更新。
新規の医療機関等への情報提供を実施。

②在宅医療対応可能な薬局一覧

在宅医療・介護に関わる資源集の更新が必要との声がある。

取り組むにあたっての問題・課題

現状に即して活用できるよう、最新情報に更新し、市ホームページや関係機関への情報提供の在り方を整理する必要がある。
また、連携に必要な情報や収集手段として、引き続きICTの活用を図る必要がある。

令和8年度の取組計画（予定も含む）

① 地域資源の把握・更新

「医療・介護に関する資源情報」について、関係機関と調整しながら内容を整理し、最新情報へ更新する。
更新した地域資源情報を関係機関へ共有し、円滑な医療・介護連携に活用する。新規医療機関等への情報提供を確実に実施します。
必要に応じて、以下の資源情報の見直し・追加を行う。

- ・在宅医療機関一覧
- ・訪問看護ステーション一覧
- ・保健所作成「訪問・外来栄養食事指導実施機関一覧」（保健所作成）
- ・在宅歯科診療・訪問歯科診療実施機関(歯科医師会作成)
- ・訪問薬剤管理指導実施薬局(薬剤師会作成)
- ・リハビリテーション提供機関(泉州地域リハビリテーションセンター作成)
- ・その他、地域の実情に応じて必要な医療・介護資源情報を把握

② 地域資源情報の共有・周知

更新した地域資源情報を医療・介護関係機関へ継続して共有する。
新規開設の医療機関・介護事業所等へも情報提供を行い、地域連携体制の充実を図る。
市民に対しては、医療と介護の連携推進フォーラム、地域出張型在宅医療介護セミナー（知っ得講座）、市ホームページ等を活用し、必要な地域資源情報を周知する。
必要に応じてICTを活用し、関係機関間で効率的に情報共有できる体制づくりを継続する。

【事業実績】

事業名	地域出張型在宅医療介護セミナー

※令和8年度は見込

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
回数	2	2	6	7	7	12
受講者数（人）	37	25	132	226	201	200

和泉市第9期介護保険事業計画　PDCAシート

令和7年度実績及び令和8年度計画（案）

資料2-2

計画体系		
	基本目標	3　地域におけるネットワークの構築
	基本施策	（3）医療と介護の連携強化
	主な事業	②在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応の検討

現行計画の内容

○　和泉市医療と介護の連携推進審議会及び下部組織の専門部会において、在宅医療・介護連携の現状把握と課題抽出を行い、必要な施策の企画立案を行います。

令和7年度の取組状況

・医療と介護の連携が特に必要となる4つの場面（入退院時・急変時・看取り・日常の療養）について、目指す市民像、専門職の姿を整理し、それに基づく活動の4本柱（①体制整備、②人材育成、③多職種連携、④普及啓発）における具体的な取組（アクティビティ）の検討を進めている。
・それぞれの専門領域ごとの個別の会議体（地域の医療・介護関係者等が参画する会議）を開催し、在宅医療・介護連携の現状把握と課題の抽出、解決策の検討を行い、専門部会で報告し、共有している。
・「在宅医療に必要な連携を担う拠点」との連携し、情報把握、課題整理・対策検討、多職種連携などを行っている。

【会議等開催状況】
①審議会：年1回（8/6）
②専門部会：年6回　偶数月　（4/23、6/25、8/27、10/22、12/24、2/25）
　＊専門部会会長との事前打ち合わせ：年6回　（4/15、6/13、8/8、10/10、12/12、2/25）
　＊地域包括支援センター・在宅医療介護連携コーディネーター・高齢介護室との合同会議：奇数月・随時
　（4/15、5/20、6/17、7/15、8/19、9/16、10/21、11/18、12/16、1/20、2/17、3/17）
　＊在宅医療・介護連携コーディネーター会議：年12回
③入退院連携会議：年6回　（4/15、6/17、8/19、10/21、12/16、2/17）
④精神病院懇話会：年4回　（5/27、8/26、11/25、2/24）
⑤和泉市在宅歯科口腔ケア：和泉市歯科医師会主催　口腔衛生管理体制強化推進事業への協力
⑥和泉市リハケア連絡会コアメンバー会議：年5回　（4/9、6/11、8/13、10/8、12/9）
⑦医師会内の在宅医療介護連携推進委員会：年1回　（2/20）

取り組むにあたっての問題・課題

医療・介護それぞれの専門領域ごとに個別の会議体が設置されており、多職種・多機関が連携して検討すべき課題について、専門部会へつなぐ仕組みはあるが、課題が各会議体内で完結する傾向がある。
報告・進捗確認から課題を協議する場へと質的な転換を図る工夫が必要である。

令和8年度の取組計画（予定も含む）

医療と介護の連携が特に必要となる4つの場面（入退院時・急変時・看取り・日常の療養）について、会議体等を議論の場として活用し、各機関が検討プロセスに参画することで、現場の具体的な取組（アクティビティ）や専門部会へ課題を吸い上げるルートを再整備する。
また、取組について、令和9年度から11年度の具体的な活動を整理する。

①審議会　　年1回開催予定（8/5開催予定）
②専門部会　　年6回開催予定（4/22、6/24、8/26、10/28、12/23、2/24）
③入退院連携会議　　年3回開催予定（6/16、10/20、2/16）
④精神病院懇話会　　年4回開催予定（5/26、8/25、11/24、2/16）
⑤在宅歯科口腔ケア　　年1回開催予定（調整中）
⑥リハケア連絡会　　年6回開催予定（4/8、6/10、8/12、10/14、12/9、2/10）
⑦在宅医療介護連携推進委員会　　年1回開催予定（5/1 医師会理事会にて開催）
⑧介護支援専門員の業務と役割を明確にする検討会議　　年3回　（4/23、8/27、12月）

【事業実績（活動指標）】　　※令和8年度は見込

事業名	多職種による会議・研修（審議会・専門部会・研修）

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
回数	12	14	17	14	14	15

和泉市第9期介護保険事業計画 PDCAシート

令和7年度実績及び令和8年度計画（案）

資料2-3

計画体系		
	基本目標	3 地域におけるネットワークの構築
	基本施策	（3）医療と介護の連携強化
	主な事業	③切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

現行計画の内容

○ 入退院連携システムの構築・急性期病院との検討会議など和泉市医師会をはじめ、関係機関との連携を図っていきます。
○ 急な病状変化や、ひとり暮らし世帯の増加を踏まえ、地域の医療・介護関係者の協力を得て、切れ目なく在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制を整備することで、安心して在宅生活を送れるまちづくりを推進します。
○ 災害時などの有事の際に「和泉市訪問看護ささえあいネットワーク」を効果的に運用していきます。

令和7年度の取組状況

①看取り代診システムについて、年間担当医療機関のシフトを調整し体制を組んだが、利用実績なし。
②在宅要介護者訪問歯科健康診査　56件
③コロナ禍・災害時における相互支援、ICTを活用した連携体制の構築へ向けた協力
　令和3年度に訪問看護ステーション間の連携体制を発足し、令和3年度に1件の利用実績のみであるが、
　連携体制の仕組みは継続されている。
④事業所間連携の構築に向けて
　・消防機関と連携し、高齢者施設との意見交換の場を持った。

取り組むにあたっての問題・課題

①看取り代診システムについて
・運用体制が整備されているものの、参加医療機関が増加せず、利用実績もないため、利用されない要因の把握・分析が必要である。
・夜間・休日や利用者の容体急変時における切れ目のない在宅医療・介護提供体制について、さらなる連携強化が必要である。

②在宅要介護者訪問歯科健康診査について
令和6年度同等実績を維持している。

③新型感染症や災害時における相互支援について
・運用実績がなく、新しい事業所へ連携体制の情報が届いてない可能性もあり、現状を踏まえ実効性の検証が必要である。
・災害時の避難所における医療・介護連携について、具体的な連携方法や役割分担の検討が進んでいない。

④事業所間連携の構築
・ICTを活用した情報共有の仕組みは整備されているものの、登録者や利用者が少なく、現場では既存の連絡手段（LINE、メッセンジャー、ショートメール、バイタルリンク、MCSなど）が活用されているため、統一は難しく、運用方法の見直しが必要である。
・訪問介護事業所間の情報共有を目的としたSNS（グループLINE）は参加者が少なく、情報発信の効果や研修参加状況を十分に把握できていない。
・在宅医療・介護の切れ目ない提供体制の充実に向け、消防機関や高齢者施設等を含めた多機関との連携強化が必要であり、「在宅医療に必要な連携を担う拠点」との連携も重要。

令和8年度の取組計画（予定も含む）

②在宅要介護者訪問歯科健康診査：継続
①③④について、在宅医療や介護が必要となる4つの場面の取組を検討するプロセスにおいて、消防機関や在宅医療に必要な連携を担う拠点の専門部会への参画をはかり、実態に応じた取組を進めていく。
③は新規事業所に再案内していく。
④は専門部会メンバーが実際にMCSを使ってやりとりする経験を通じ、併せて運用ルール化を図る。

【事業実績（活動指標）】　※令和8年度は見込

事業名	多職種による会議・研修（審議会・専門部会・研修）

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
回数	12	14	17	14	14	15

和泉市第9期介護保険事業計画　PDCAシート

令和7年度実績及び令和8年度計画（案）

資料2-4

計画体系		
	基本目標	3　地域におけるネットワークの構築
	基本施策	（3）医療と介護の連携強化
	主な事業	④医療・介護関係者の情報共有の支援

現行計画の内容

○　課題別プロジェクト及び医療介護連携推進コーディネーターとの連携等により、把握している医療・介護の資源の情報の共有を行っています。把握した情報を活用する対象者の類型ごとに提供する内容を検討し、必要時に市民及び関係者が選択・連絡できるような環境整備を整えていきます。

令和7年度の取組状況

①和泉市内・病院連携の窓口（ツールの提出先）一覧の更新。
②和泉市に新規開業した、訪問診療をする医療機関・訪問看護ステーション・介護保険サービス事業所に所属する専門職向けの「和泉の医療介護連携資源、ツール、ルール等についての説明ガイド、説明プログラム」（以下、わかばセット）を活用し、情報提供体制を整えている。
③情報共有手順・手段について、以下のツールや資料2-1を市ホームページに掲載し、常時活用可能としている。
・介護と看護との連携サマリー
・医療と介護の連携連絡票
・居宅薬剤アセスメント票
・リハビリテーション地域連携シート
・ひとり暮らし高齢者など緊急入院時に備えた覚書（以下、覚書）
・和泉市版人生会議メモ

取り組むにあたっての問題・課題

①和泉市内・病院連携の窓口一覧について
情報更新が課題

②わかばセットの周知・配布について
作成当初は新規参入事業所への情報提供に有効であると考えたが、現在は市ホームページやICT等による情報提供が定着し、必要な情報を随時取得できる環境が整っている。また、紙媒体は情報の更新・維持管理が課題となることから、今後は必要に応じた個別の情報提供へ移行することが適当である。

③情報共有手順・手法について
・実務において既存の医療・介護関係者間で情報共有に使用するツールや方法があり、連携手段が多様化している。個人情報保護に配慮しながら、必要な情報を適切に共有できる運用体制の維持・強化が必要である。
・病院との在宅介護との連携に中心であったが、高齢者の住まいとして機能している高齢者住宅施設等や、急変時対応や看取り、災害時の体制強化に向け消防機関との連携など、今後、多機関が迅速かつ円滑に情報共有できるネットワークの強化が必要である。

令和8年度の取組計画（予定も含む）

①和泉市内病院連携の窓口一覧について、情報更新を行う。
②わかばセットについて
現状に即した運用が望ましいため、令和7年度で整理し終了とする。
③情報共有手段について
従来のツールについて、情報更新を図るとともに、医療・介護関係機関へ和泉市版人生会議メモ（ACP手帳）の認知を広めるため、活用方法等を端的に掲載した周知チラシを作成し活用を促す。
また、資料2－3のとおり、情報共有の取組を行う。

【事業実績】　※令和8年度は見込

事業名	医療介護連携推進審議会の開催

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
開催回数（回）	1	1	1	1	1	1

【事業実績】

事業名	専門部会の開催

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
開催回数（回）	6	6	6	6	6	6

和泉市第9期介護保険事業計画　PDCAシート

令和7年度実績及び令和8年度計画（案）

資料2-5

計画体系		
	基本目標	3　地域におけるネットワークの構築
	基本施策	（3）医療と介護の連携強化
	主な事業	⑤在宅医療・介護連携に関する相談支援

現行計画の内容

○　在宅医療介護連携推進コーディネーターを中心に、地域包括支援センターと連携を図りながら、在宅医療・介護に関する相談・連携調整・情報提供等の機能を確保しつつ、支援に努めます。

令和7年度の取組状況

①在宅医療介護連携推進コーディネーター相談事業

在宅医療介護連携推進コーディネーターを配置、令和7年度からは地域包括支援センターの主任ケアマネも加わり、より医療介護連携を強化。

在宅医療介護連携推進コーディネーターによる相談事業の実施（平日）し、専門職からの医療介護連携に関する電話相談・面接を実施。

②在宅医療介護連携推進コーディネーター会議

12回開催（月1回開催：4/21、5/19、6/16、7/21、8/18、9/15、10/20、11/17、12/15、1/19、2/16、3/16）

③歯科ケアステーション相談事業

相談件数57件

取り組むにあたっての問題・課題

・在宅医療・介護連携相談窓口の相談件数が減少しており、関係機関への周知や活用促進が十分でない可能性がある。相談窓口の役割や相談対象について、医療・介護関係者へのさらなる周知が必要である。
・身寄りのない高齢者や認知症高齢者の増加など、地域課題の複雑化に伴い、相談内容が多様化・複雑化している。医療・介護・福祉など複数の機関による支援が必要な困難事例に対し、伴走型の相談支援体制の充実が求められる。
・複合的な課題を抱えるケースについて、多機関が連携して継続的に支援できる体制の強化が必要であり、相談内容や対応状況を分析し、地域課題の把握や施策の検討につなげる仕組みの充実が必要である。

令和8年度の取組計画（予定も含む）

①在宅医療介護連携推進コーディネーター相談事業の継続
②在宅医療介護連携推進コーディネーター会議の継続
③歯科ケアステーション相談事業の継続
在宅医療・介護連携相談の役割や相談対象などについて啓発ビラを作成し、医療・介護の関係機関が集う専門部会において機能紹介を行うとともに、相談手段も電話以外の方法（メール等）も可能とし、市HP（医介専門職ページ）に掲示、医介連携に関する研修・会議の場を活用し周知を図る。

【事業実績（活動指標）】　　※令和8年度は見込

事業名	医療コーディネーター相談対応件数

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
専門職からの相談件数	79	48	36	45	26	100

和泉市第9期介護保険事業計画 PDCAシート
令和7年度実績及び令和8年度計画（案）

資料2-6

計画体系		
	基本目標	3 地域におけるネットワークの構築
	基本施策	（3）医療と介護の連携強化
	主な事業	⑥医療・介護関係者の研修

現行計画の内容

○ 地域の医療・介護関係者の連携を深化し、質が高く切れ目のない医療と介護のサービスを受けられるよう、多職種の相互理解を促す研修を開催します。

令和7年度の取組状況

①心不全患者を地域で支えるため研修会
「心不全患者さんに対するACPの考え方」「心不全患者さんへの心理士としての取り組み」（1/29） 45名参加
②入退院地域連携会議 研修会
「光生病院の機能・入退院支援」（7/23） 27名参加 「咲花病院の機能・入退院支援」（11/23） 17名参加
③和泉市リハケア地域連携研修会
「脳血管疾患を理解する」（9/11） 42名参加
④和泉市在宅歯科口腔ケア地域連携研修会
大阪府主催「在宅高齢者の歯と口の健康向上推進事業」「介護保険施設における口腔衛生管理体制強化事業」研修会に参加
⑤和泉市在宅医療勉強会
「現場で困らない在宅酸素の基礎と支援の実際」（11/29） 42名参加
⑥感染症対策研修会
「持ち込まない！うつさない！拡げない！冬の感染症」（12/6） 25名参加
⑦「ACPを学び和泉のACPを育てる研修会～和泉市のより良い医療ケアを提供するために～」
（心不全研修と併せて開催）
⑧和泉市内精神科病院と在宅機関との連携づくりにむけて
「複合課題を抱える家庭を支援するための多職種連携研修」（6/13） 75名参加

取り組むにあたっての問題・課題

課題別の研修が定着しているが、一方で形骸化しており、参加者の偏りがある。
医療と介護が必要となる4つの場面に応じた和泉市ロジックモデル（作成済）をもとに、課題に応じた研修が必要。
国が求める自立支援・重度化防止の視点（インフォーマル資源との連動、リハビリテーション・栄養・口腔の取り組みを一体的に運用）に資する取り組みとの連携も必要。

令和8年度の取組計画（予定も含む）

①心不全パンデミックに備えて心不全研修会の開催継続 10/1予定
②入退院地域連携研修継続 令和9年1月または2月予定「和泉市立総合医療センター・府中病院合同研修」
③和泉市リハケア地域連携研修会 「セルフマネジメント支援について」8/21予定
④和泉市在宅歯科口腔ケア地域連携研修会 5/14「高齢者の口腔機能 お口の中の事をもっと知りましょう」
⑤在宅医療勉強会
⑥感染症対策研修会 11月上旬予定
⑦多職種連携合同研修会開催予定 精神科連携研修「複合的課題がある家族を支える支援」（10/23）予定
⑧人生会議ACPを学び和泉市のACPを育てる研修会

【事業実績】 ※令和8年度は見込

事業名	課題別研修

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
入退院支援	5	7	10	7	7	7
在宅ケア多職種連携						
歯科口腔ケア						
服薬管理						
リハビリテーション						

和泉市第9期介護保険事業計画　PDCAシート
令和7年度実績及び令和8年度計画（案）

資料2-7

計画体系	基本目標	3　地域におけるネットワークの構築
	基本施策	（3）医療と介護の連携強化
	主な事業	⑦地域住民への普及・啓発【重点】

現行計画の内容

○　自分の人生を主体的に生きるために、在宅医療や介護に関する制度やサービスについて、わかりやすく情報提供できるよう、各種リーフレット、ホームページなどによる普及・啓発とともに、地域出張型在宅医療介護セミナーや市民フォーラムなどを開催します。
○　人生会議（ACP）をはじめ、「和泉市市民を中心とした医療と介護の連携推進条例」などの普及・啓発に努め、本人の選択と本人・家族の心構えの意識づくりに努めます。

令和7年度の取組状況

①地域出張型在宅医療介護セミナー

参考3

・実施回数　7回／参加者数　201名

人生会議（ACP）をしましょう	6回
かかりつけ薬剤師について	1回

・人生会議について〈入門編〉〈実践編〉と分けて講座内容を設定したが、申し込み団体のニーズに添い、2種を合同実施している。

②和泉市医療と介護の連携推進フォーラムについて

参考2

・実施日　令和8年3月1日／参加者数　68人
・専門部会において、「和泉市版人生会議メモ（第2版）」を作成。事後アンケートで9割以上が「人生会議をやってみようと思う」「人生会議メモを今後活用できると思う」と回答している。

③和泉まちの保健室について

・訪問看護ステーション連絡会主催
　実施時期　偶数月第3（土）開催／場所　コミュニティカフェオアシス
　実施回数　7回　うち2回はオアシスフェスタ、こころともにいずみ～インクルーシブフェスティバル～に参加
　内　　容　血圧測定、個別相談など
・和泉市立総合医療センター・大阪母子医療センター主催
　実施時期　偶数月第3（木）開催／場所　和泉市役所
　実施回数　13回　（内1回は健康まつりで実施）
　内　　容　血圧測定、握力測定、体重測定、健康相談など

④その他の周知啓発

市ホームページ、高齢者支援サービスパンフレット、各種教室の機会を活用し情報発信している。

取り組むにあたっての問題・課題

①地域出張型在宅医療介護セミナーについて
　講座開催数は前年度に比べて増えており、ニーズに応じた提供体制を整える必要がある。
②和泉市医療と介護の連携推進フォーラムについて
　高齢者自身が医療や介護が必要になっても、望む場所で自分らしく過ごすことができるよう、和泉市版人生会議メモの活用推進に勤め、高齢者だけでなく介護の担い手となりうる子世代にもアプローチを図る必要がある。人生会議の認知の広がりのみでなく、周囲の信頼できる人達と話し合い共有しておくプロセスが重要であることの理解を深める啓発が課題。あらためて医療と介護の連携推進条例の理念にもとづき、市民、医療、介護、行政の役割認識が必要。
④その他周知啓発について
　情報発信の手段に広がりがなく、情報が届いていない可能性がある。

令和8年度の取組計画（予定も含む）

①知っとく講座継続。
　専門部会構成団体による協働事業であり、市民ニーズに応じ提供体制や内容の整理を行う。
②市民フォーラム継続。
　条例の原点にもどり、市民・医療・介護・行政の役割を再認識する機会とし、今後ニーズが高まると思われるおひとりさま問題をテーマに、フォーラム開催を予定。
③まちの保健室の後方支援を継続。
④その他周知啓発の継続。
・人生介護メモの活用促進。人生会議メモの増刷、専門部会（多職種連携の会議体）において、活用説明ちらしを作成し関係機関及び市民へ配布予定。
・地域で活動する元気高齢者に対しては、いきいきいずみ体操団体を中心に地域包括支援センターの協力を得て市民啓発し、医療や介護に繋がっている高齢者に対しては、医療介護の専門職から市民啓発してもらえうよう専門部会で検討予定。

【事業実績】　※令和8年度は見込

事業名	市民フォーラム

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
開催回数（回）	1	1	1	1	1	1
参加人数（人）	47	130	74	62	68	100

【事業実績】

事業名	地域出張型在宅医療介護セミナー

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
回数	2	2	6	7	7	12
受講者数（人）	37	25	132	226	201	240
累積			1,068	1,294	1,495	

【事業実績（例：参加人数、実施回数、配布数など】

事業名	人生会議メモ

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
配布数				200	1800	2000

和泉市第9期介護保険事業計画　PDCAシート
令和7年度実績及び令和8年度計画（案）

資料2-8

計画体系		
	基本目標	3　地域におけるネットワークの構築
	基本施策	（3）医療と介護の連携強化
	主な事業	⑧在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

現行計画の内容

○　和泉市以外の市町村に所在する病院に入退院する市民に対しても、切れ目のない医療と介護を提供できるよう、大阪府や保健所等の支援のもと、複数市町村が連携して広域連携が必要な事項について協議し、連携体制の構築に努めます。
○　保健所との連携や泉州二次医療圏を中心とした検討会議等へ参画し、連携を図ります。

令和7年度の取組状況

・和泉保健所との連携や、泉州二次医療圏を中心とした検討会議等へ参画し連携体制構築に努めている。
　・和泉保健所管内在宅医療・介護連携コーディネーター広域会議（6/30、12/1）に出席
　・泉州在宅医療懇話会（11/12）に出席
　・泉州がん診療ネットワーク協議会緩和ケア部会（6/5、2/5）に出席

取り組むにあたっての問題・課題

・情報共有の機会であり、広域にまたがる共通の課題の有無や必要に応じた取り組みの展開が課題。
・都道府県が策定する医療計画に基づく、在宅医療に必要な連携を担う拠点における役割・機能との連携。

令和8年度の取組計画（予定も含む）

・和泉保健所に広域調整を図る役割を担っていただき、近隣市との連携を強化する。

【事業実績】　※令和8年度は見込

事業名	在宅医療介護コーディネーター広域会議

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
会議回数（件）	2	1	2	2	2	2